

安全データシート

会社名：株式会社 高純度化学研究所
住 所：〒350-0284 埼玉県坂戸市千代田 5-1-28
電 話：049(284)1511 F A X：049(284)1351
作成部門：本社 品質保証部
整理番号：NIH05XAG 作 成：1996年 7月 5日
R2：2016年12月22日

1 化学物質等及び会社情報

1.1 製品情報

製品名：NiCO₃(basic) 塩基性炭酸ニッケル Nickel carbonate (basic)

カタログ#	NIH05XB
純度，形状，備考	99.9%(3N)，固体，－

1.2 会社情報 上部に記載

2 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	環境に対する有害性	物理化学的危険性
急性毒性(経口)；区分外 呼吸器感作性；区分1 皮膚感作性；区分1 発がん性；区分1A	水生環境有害性 急性；区分1 慢性；区分1	可燃性固体；区分外 自然発火性固体；区分外 自己発熱性化学品；区分外 水反応可燃性化学品；区分外

GHS ラベル C, V



絵表示

注意喚起語 危険

危険有害性情報	注意書き
吸入するとアレルギー，喘息又は呼吸困難を起こすおそれ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 発がんのおそれ 水生生物に非常に強い毒性 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性	取り扱い前に安全注意書きを読み理解すること。 取り扱いの際には保護眼鏡，手袋，保護マスク，保護衣他必要な保護具を着用すること。 粉塵，ミストの吸入を避ける。取扱い中の飲食喫煙を避け取扱い後は手洗いを励行。 汚染された衣類は直ちに脱ぎ，再使用時には洗濯すること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避け，漏出物を回収すること。 吸入した場合，空気の新鮮な場所に移し，楽な姿勢で休息させる。 皮膚についた場合，直ちに汚染された衣類をすべて取り除き，皮膚を多量の流水/シャワーで流しながら石鹸を用いてよく洗い落とす。皮膚に異常があれば医師の診断を受ける。 暴露した時，または気分が悪い時は医師に連絡すること。 施錠して保管すること。 内容物/容器を法規に従って廃棄すること。

国・地域情報：・ 労働安全衛生法 特定化学物質等 第二類物質 ニッケル化合物(粉状の物)
表示・通知対象物質 ニッケル及びその化合物

その他の危険有害性：・ その他該当項目に参考情報を記載した。

3 組成，成分情報

化学名：塩基性炭酸ニッケル(Ⅱ)・四水和物

化学式：NiCO₃·2Ni(OH)₂·4H₂O

単一製品，混合物の区分：単一製品

Basic nickel carbonate

Nickel carbonate hydroxide tetrahydrate

組 成：100%

P R T R法に基づく表示：ニッケル含有率；47 %

官報公示整理番号：・ 化審法 既存化学物質 1-167

C A S #：39430-27-8

RTECS#：QR6260000

T S C A：登録(無水物)

EINECS：2357159(無水物)

4 応急措置

目に入った場合：・ 流水で眼を最低15分間洗浄し、眼科医の手当を受ける。

・ 洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球・瞼の隅々まで水が行き渡るようにする。

皮膚に着いた場合：・ 物質に触れた部分を多量の水を流しながら、石鹸を使ってよく落とす。

・ 外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、医療処置を受ける手配をする。

吸入した場合：・ 被災者を空気の新鮮な所に移し、医療処置を受けさせる。

・ 鼻をかませ、うがいをさせる。

飲み込んだ場合：・ 直ちに医療処置を受ける手配をする。水でよく口の中をうがいさせる。

5 火災時の措置

一般的注意：・ 表題製品は不燃物であり、消防法の非危険物である。

・ 消火の際には必ず保護具を着用する。

消火方法：・ 製品が火災に巻き込まれた場合、消防活動について特に考慮すべきことはない。

6 漏出時の措置

一般的注意：・ 可能であれば漏れを止める。不必要にこぼれた物に触れない。

処理作業者に対する注意：・ 作業の際には必ず保護具を着用し、粉末の付着、吸入を防ぐ。

・ 屋内の場合処理が終わるまで十分に換気する。屋外では風上から作業する。

環境影響に対する注意：・ もれ出た物質や希釈水が河川等に排出されないよう注意する。

もれ出た物の処理に対する注意：できるだけ掃き集めて密閉できる空容器に回収する。

7 取り扱い及び保管上の注意

取扱上の注意

* 一般的注意：・ 本製品は安衛法特化則の特定化学物質に該当します。取り扱い作業が同規則に規定されるものである場合には同規則を守った取り扱いが必要です。

(主項目：業務の定義、適用除外、製造(局所排気)、用後処理(除塵、排ガス処理)、漏洩防止、管理(作業主任者)、環境測定、健康診断、保護具 など)

* 作業者の暴露防止：・ 適切な身体保護具を着用し、局所排気装置を利用して作業者が物質に触れないよう、また物質の蒸気や粉塵を吸引しないようにする。

・ 取扱いは、換気の良い場所で行う。

保管上の注意

* 一般的注意：・ 乾燥した冷暗所に、容器を密閉して保管する。

8 暴露防止及び保護措置

管理濃度：・ 作業環境評価基準(2015) ニッケル化合物 0.1 mg/m³ (粉状のものに限る。Ni として)

許容濃度：・ 下表参照

機関名	産衛学会(2016)	ACGIH(2013) TLV-TWA	OSHA(2006) PEL-TWA
成分名	mg/m ³	mg/m ³	mg/m ³
ニッケル不溶化合物(as Ni)	0.1	0.2	1

TLV, PEL：いずれも許容濃度、TWA：時間加重平均値

設備対策：・ 粉塵に暴露される可能性のある場合は局所排気設備等の排気設備を使用すること。

保護具：・ 呼吸用保護具＝空気呼吸器、防塵マスク、保護眼鏡＝ゴーグル型、保護面(防災面)
保護手袋、その他＝保護服、長靴、前掛け、アームカバー

9 物理的及び化学的性質

注) 指数以外の右肩付数は温度(°C)

外 観 等 : ・ 緑色固体

化 学 式 : NiCO₃・2Ni(OH)₂・4H₂O

式 量 : 376.2

融 点 : 分解

密 度 : 2.5~2.7 g/cm³

溶 解 性

* 水 : 不溶

* 可 溶 : ・ 酸、アンモニア

可燃性 : ・ 不燃性である。

酸化性 : ・ なし。

10 安定性及び反応性

化学的安定性 : ・ 容器を密閉して室温保管で安定である。

反応性 : ・ データなし。

* 混触危険物質 : ・ 強酸化剤, 強酸類

11 有害性情報

急性毒性(経口) : ・ GHS 判定 区分外 ; 有害性が最低区分を下回る。

・ ラット 経口 LD₅₀ > 2000 mg/kg (厚労省既存化学物質毒性データベース)

急性毒性(経皮, 吸入) : ・ GHS 判定 データなし。

皮膚腐食性/ 刺激性 : ・ GHS 判定 データなし。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : ・ GHS 判定 データなし。

呼吸器感作性 : ・ GHS 判定 区分1 ; 吸入するとアレルギー, 喘息又は呼吸困難を起こすおそれ

・ ニッケル又はニッケル化合物は、日本産業衛生学会勧告で気道感作性区分2に分類されている。

皮膚感作性 : ・ GHS 判定 区分1 ; アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

・ ニッケル又はニッケル化合物は、日本産業衛生学会勧告で皮膚感作性区分1に分類されている。

生殖細胞変異原性 : ・ GHS 判定 データなし。

・ 変異原性が認められた既存化学物質等(平成28年12月9日現在)に該当しない。

発がん性 : ・ GHS 判定 区分1A ; 発がんのおそれ。

成分の発癌性ランク(ーは記載なしを示す。)

成分名	産衛学会(2016)	ACGIH(2013)	IARC(2016)	NTP(2014)
ニッケル及び化合物	2B	A1	1	K

産衛学会 2B : ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できるが証拠が比較的十分でない物質。

ACGIH A1 : 人に対して発がん性が確認された物質。

IARC 1 : 人に対して発がん性を示す。

NTP K : ヒト発がん性があることが知られている物質

生殖毒性 : ・ GHS 判定 データなし。

特定標的臓器毒性

単回曝露 : ・ GHS 判定 データなし。

反復曝露 : ・ GHS 判定 データなし。

吸引性呼吸器有害性 : ・ GHS 判定 データなし。

12 環境影響情報

水性環境有害性

急性有害性 : ・ GHS 判定 区分1 ; 水生生物に非常に強い毒性

・ 藻類(緑藻類オキズス) EC₅₀(72h) = 0.48mg/L (環境省生態影響試験(2005))

慢性有害性 : ・ GHS 判定 区分1 ; 長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

・ 甲殻類(オミジンコ) NOEC(21日) = 0.012mg/L (環境省生態影響試験(2005))

- ・ 環境基本法：環境基準◆大気(浮遊粒子状物質) ◆水質(浮遊物質) ◇土壌(一)
- ・ 大気汚染防止法：◆粉じん、ばい煙
- ・ 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律：◇特定物質でない。
- ・ 悪臭防止法：◇悪臭物質に該当しない。
- ・ 下水道法：◇該当物質でない。
- ・ 水質汚濁防止法：◆指定物質(ニッケル及びその化合物) ◇地下浸透規制(一)
- ・ 土壌汚染対策法：◇該当なし。
- ・ 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：◇特別管理産業廃棄物に該当しない。
- ・ 海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律：◆海洋汚染物質に該当する。
(船舶安全法の環境有害物質)

16 その他

参考文献：

- 1) JISZ7252 (2014)
- 2) JISZ7253 (2012)
- 3) 事業者向け GHS 分類が イタンス(平成 25 年度改訂版(ver. 1.1) 経済産業省
- 4) 化学物質総合情報提供システム(CHRIP ; (独)製品評価技術基盤機構(NITE))
- 5) 化学大辞典 ; 共立出版
- 6) GESTIS-database on hazardous substances ; (IFA)
IFA : ドイツ労働災害保険協会労働安全衛生研究所
- 7) HSDB(Hazardous Substances Data Bank) ; U.S. National Library of Medicine

注意事項：・ 本情報は製品に対しての品質保証や安全保証をするものでなく、製品の危険、有害性等に関する情報を提供するものです。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策をお願いいたします。